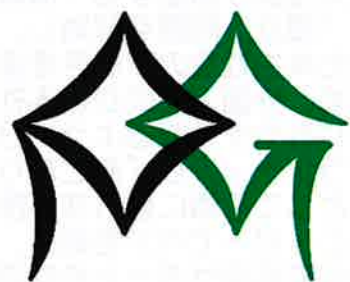


認定NPO法人 プラチナ・ギルドの会

「第12回 プラチナ・ギルドアワード」



シニアが動く、日本が変わる

「支援される側」から「支援する側」へ
アクティブ・シニアが面白い

授賞式

会場

交流会 &
懇親会

2026年

4月18日(土)

14:00~16:30

きゅりあん品川区立総合区民会館

5階第4講習室 品川区東大井5-18-1

17:00~19:00

於: 阪急大井町ガーデン「クルール」

参加方法 (要事前予約)

会場の参加、もしくはオンラインでの参加を選択していただきます。(なお、会場での参加人数に限りあり、その場合オンライン参加でお願いすることもあります)
右のQRコードからお申込みください



表彰式次第

14:00~14:10

主催者挨拶

プラチナ・ギルドの会 理事長 久保 健

14:10~14:30

受賞者表彰・記念撮影

14:30~16:30

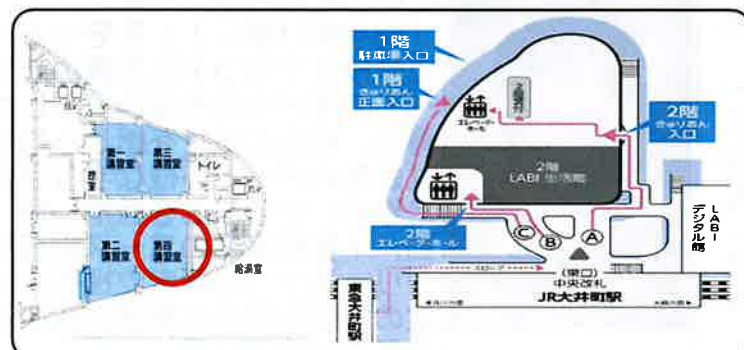
受賞者スピーチ

(会場を変えて)

17:00~19:00

交流会 & 懇親会

きゅりあん品川区総合区民会館 地図



懇親会会場(クルール) 地図



受賞団体紹介

敬称は省略させていただきます。

表彰

認定特定非営利活動法人 SET
理事長 三井 俊介
副理事長 石渡 博之



東日本大震災発生から2日後、大学生による復興支援団体として発足。震災復興や地域おこしを旨として参加学生の自己実現にも注力し、①都会の学生と地域住民の交流事業、②中高生の修学旅行を対象にした民泊事業の展開(年間3000~4000人の受入れ)、③地元の中高生の自己実現のための育成活動や各種の調査・研究と幅広い活動を行っている。

表彰

特定非営利活動法人
アジア人文文化交流促進協会
理事長 石川 憲彦/理事 ファウンダー 楊 焱



外国人住民が直面する「情報格差」「孤立」問題を解消し、真の文化共生社会の実現を推進するため、外国人住民が日本社会になじみやすくなるよう、日本人ボランティアが「おとなりさん」として近隣に暮らす外国人住民と一対一でペアを組み、日常の中で直接サポートや交流を行っている。複雑な課題に対して専門家集団のサポートもあり、これまで1,600人以上が参加し活動拡大している。

表彰

うえるしび
代表 岡田 麻未



日本には約57万人の障害児があり、その兄弟姉妹である「きょうだい児」も同程度存在すると推計されているものの、きょうだい児は行政の支援対象になりにくく、そのため支援が届きにくい状況にあり、うえるしびは、当事者かつ専門家の視点からWebで情報発信を行い、きょうだい児と家族を支える活動を行っている。

表彰

一般社団法人 NEOのむら
代表理事 清家 卓
理事 佐藤 功



西日本豪雨災害の復興ボランティア活動を機に、愛媛県西予市(N)野村地区(E)愛媛大学(O)大阪大学が協働して地域資源を活かした持続可能なまちづくりに向け活動中。毎年100人以上の学生ボランティアが来訪し、地元中高生への活動支援、イベント運営などに携わるなど、地域活性化のモデルとなっている。

特別表彰

認定特定非営利活動法人
志木総合型地域スポーツ・レクリエーション
クラブ(通称:クラブしっきーず)
理事長 増田 三枝子/クラブマネジャー 増田 康太



世代や障がいの有無を問わず、子どもから高齢者まで誰でも気軽に参加できる多世代・多目的・多志向の総合型地域スポーツクラブ活動を実施。運動・スポーツをベースに「地域密着型サードプレイス」を核として社会課題(孤独・孤立・不登校・障がい・高齢・喪失)を地域の日常の中で受け止め、地域に根付いた活動となっている。

特別表彰

特定非営利活動法人
多様な学びプロジェクト
代表理事 生駒 知里



不登校の子どもや保護者の孤立という社会課題に向き合い、「街を学び場に!」をモットーに学校外で育つ子供を含めたすべての子どもたちが自分らしく育ち、安心と幸せを感じられる社会をめざし、多様な学びを当たり前にすることを目指し活動。不登校家庭のニーズ調査やフリースクール伴走支援等、制度の隙間を埋める実践と政策提言をも進めている。